

あなたとまちと フェイス to フェイス



ごあいさつ

平素は、私ども中兵庫信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

ここにお届けします「中兵庫信用金庫の現況」は、平成27年度の業務活動や業績の推移を中心に、地域とのかかわり等をわかりやすく編集したものです。ご高覧の上、〈なかしん〉に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

昨年度の日本経済を振り返りますと、年度当初は円高の是正や原油安を背景に大企業を中心に企業収益の改善が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。しかし、年度後半にかけては中国をはじめ新興国経済が減速し、設備投資や輸出が停滞するとともに個人消費も伸び悩み、景気回復のペースは足踏み状態となりました。その中で日本銀行は2%の物価安定目標の実現に向けて「マイナス金利」を導入、市場金利は過去最低水準まで低下し、先行き不透明感が広がりました。当金庫の営業エリアにおきましては、一部に前向きな設備投資の動きが見られるなど景況感の改善も感じられましたが、全般的には景気回復を実感するまでには至りませんでした。

このような経営環境の中、おかげさまで当金庫は、預金残高で41億円の増加、貸出金残高で4億円の増加となり、収益面におきましても、当期純利益1,515百万円を計上することができました。また、経営の安全性・健全性の指標である自己資本比率は24.96%となりました。これもひとえに、地域の皆さまからの温かいご支援の賜物と心より厚くお礼申し上げます。

平成28年度は、新たな中期経営計画「飛躍～創立50周年に向かって～」に取組みます。地域になくてはならない金融機関として、皆さまの信頼と期待に応え、健全経営に基づき、地域社会の持続的な発展に貢献することを目指し全力で取組んでまいります。

今後とも、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのますますのご繁栄とご健勝を心から祈念申し上げます。

平成28年7月

理事長 足立 厚郎